

No.56
2022.3.18
発行：特定非営利活動法人
所沢市学童クラブの会
広報部
所沢市くすのき台2-20-6
Tel：04-2994-6753



菓子屋さんで出すお菓子も一から考えたりと、工夫を凝らした企画になり

高学年の取り組み

中央学童

中央学童では、五、六年生は「リーダー」という役割があります。主にクラブの行事を企画してくれたりします。

今年度は十月に「お楽しみ会」を企画してくれました。「何かイベントやる？」と指導員から投げかけると、「やりたい」とリーダーたち。そこから「お楽しみ会」の企画が始まりました。まずは「なにをやるのか」から始まりました。リーダー会議を重ねたり、下の子達にアンケートをとったりしながら内容を決めていきます。

決まった内容は宝探しと缶蹴り、駄菓子屋さん。シンプルにみえますが、宝探しではみんなが楽しめるような面白いルールになっていたりと、駄菓子屋



ました。

そして迎えた当日。宝探しでは、リーダーの考えたルールにみんなもどっぷりハマり、楽しんで探していました。缶蹴りも盛り上がり、何度も何度も楽しみました。その後はリーダーがお店番の駄菓子屋さん。六年生

松井学童

二〇二一年年末に高学年を中心としたイベントを行いました。

開会式では「まつぼっくり演芸M1グランプリ」に五年男子「紅天グッズ」（こうてんグッズ）が登場。M1グランプリの音楽を流し、鳴り終わったところでネタが始まりました。シーンとした緊張感の中でネタを披露し、みんなの笑いを誘ってくれました。ネタ

は慣れたもので、テキパキとお客さんをさばきます。五年生は初めてのお店番ですが、六年生の様子を見ながら、一人一人丁寧に接していました。最後に、産休に入る指導員に、サプライズで学童のみんなからの色紙をプレゼント。代表して六年生の女子が渡してくれました。当日に急遽役が決まったにも関わらず、しっかり大役を務めてくれました。全体を通して、学童みんなが楽しめて、随所随所で五、六年生の力を感じた行事になりました。企画進行してくれた五、六年リーダーさん、ありがとうございました！

を書く時間やネタ合わせの時間がなかなか取れない中頑張ってくれました。紅天グッズ3150！（サイコー）ただ、M1グランプリの音楽は恥ずかしかったようです。（笑）

その後みんなでドッジボールを行いました。元気いっぱい活発な子ども（大人も含む）が多い松井学童クラブなので、



子どもも大人も気合いが入ります。始める前のルール確認で五、六年生たちが「男女わけてやるう」というので男女に分かれて行いました。男子も女子も高学年の子どもたちが上手くリードしてくれて、いつも遠慮していた低学年の子どもも積極的にボールを取ったり、高学年の子どもがボールを譲ったり、大人に向けて本気で投げる高学年がいたり（笑）楽しくいい雰囲気遊ぶことができました。途中から「ボール二個にしよう」の声が上がると二つにすると更に盛り上がりました！

近年、我慢することが多い世の中ですが、こうして子どもたちと楽しく過ごし、何より子どもたちのキラキラした笑顔が見れて幸せでした！そして、みんなを引っ張ってくれる高学年の存在をありがたく感じます♡

上新井学童

上新井学童クラブの行事は、主に高学年（五、六年生）の知恵や力を借りて行っています。

しかし、皆さんご存じの通り、コロナウイルス感染症によりこれまで行っていた学童の生活や行事が縮小あるいは中止することとなり、「楽しみにしていたのに…」という声が子ども達から挙がっていました。

このような状況でも出来る事を考え、今年度は「新入児歓迎会」、「夏のすぎのこ縁日」、「冬会」を縮小バージョンで行う中で、高学年の力を借りてきました。

そして、二〇二二年一発目



三ヶ島学童

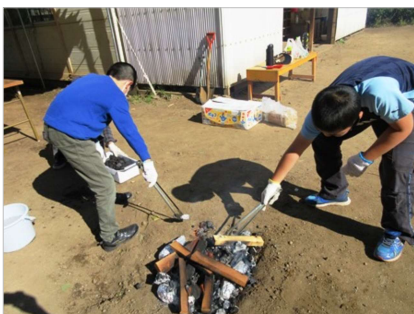
の行事となる第二上新井学童クラブとの合同行事「お正月縁日」では、五年生の男女四名で「射的屋」を企画しました。「射的屋」は、夏のすぎのこ縁日でも出店したのでですが、「銃が撃ちづらかった!」「待ち時間が長くて行列になっていた…」など、以前の失敗を改善するためにどのようにしたらいいのか、仲間同士で

六年生二名が在籍しています。コロナ禍で合宿などは行えませんが、なにか取り組みができないかと考え、六年生会議で話し合いを進め、・学童で今人気のやつとを作ろう。・火起こしで、お湯を沸かし、お昼ご飯を食べようと決まりました。

当日は火起こしからスタートです。「自分たちでやる」という意識があり、自主的に動き始めます。最初に火を起こせるように穴を掘ります。掘る位置を自分たちで決め「このくらいでいいかな」「そうだね」など相談しながら掘っていきます。月君が「固いな」と苦戦している

考えたり支援員にアドバイスを求めたりする姿に感心しました。射的台は段ボールを張り合わせて手作りするという拘りを持ち、いざ作り始めるとおふざけが楽しくなって脱線してしまうこともありましたが、それもまた楽しさの一つ!当日は、前半後半で担当を決め、お店に来るお客さんに嬉しいお兄さんお姉さんの

と、太陽君が「変わろうか?」と自然に助け合う姿も。学童と一緒に過ごしてきた仲間だからこそだなくと思いつきながら指導員は見守ります。掘れたら、薪をセットし、マッチで火をつけます。最初は「どうやるの?」と戸惑っていました。が、何度かチャレンジし、火をつけることができました。



顔つきで丁寧なやり方を教えていました。終わった後は「夏よりも上手く出来て楽しかった!」と言うくらい達成感があったようです。

次はやつとこ作りです。ここで二人の得意分野が判明!太陽君は電動のこぎりを上手に使い、どんどん木を切っていきます。月君は電動ドリルのコツを掴み、十八個の穴をあけてくれました。一個目は苦勞しながらの完成でしたが、残り二つはあっという間に完成させてしまいました!

お昼、月君はおにぎりといんスタントお味噌汁。太陽君はチキンとカップヌードル。お湯を沸かすのに思った以上に時間がかかり(笑)この日一番苦戦したこともありませんが、そのおかげで格別なお昼になりました。六年生と指導員で楽しい時間を過ごすことができました。



学童の一年

子どもたちの声

《ひだまりのみみ》

★フリスビーができるようになった!! (一年男子) ★けん玉ができるようになった!! (一年男子) ★とめけんができるようになった!! (三年男子) ★ひこうき(けん玉の技)ができるようになった!! (三年男子) ★ペーゴマ大会が楽しかった!! (一、三年男子) ★一輪車に挑戦した!! (一年女子)

《三ヶ島学童》

・こうさく (一年生) ・レゴ ラキュー ひみつきち しんぶん (二年生) ・バスケット (二年生) ・いちりんしゃ (一年生) 読書 (三年生) ・あみもの (二年生) ・おえかき めりえ 一りん車 まんが あやとり 工作 なわとび (二年生) ・ボールあておに (三年生) ・そとでいろんなあそびと なかでじしゃくときめつのやいばのほん (一年生) ・おにこつこ あやとり マンガ めりえ なわとび (四年生) ・ピンゴ (一年生) ・ぼうるあてとつぞうちゅう (一年生)

《よつぱくらぶ》

☆夏祭り 一(いち)から準備 大成功 (五年) ☆クリパやハロパとか、このクラブならではのパーティが沢山あって楽しかった! (四年) ☆ボンボンを作って遊んだこと! 段ボール工作が人気だったこと。 プラバンが出来た事。(四年) ☆四年生と友達になれた! (二年) ☆野球でピッチャーと守備がうまくなった (二年) ☆野球のバッター、キャッチャー、ピッチャー、守備を頑張った (四年) ☆野球が好きになりました! (五年) ☆平靜を保てるようになった! (五年) ☆よつぱクラブはずーっと刺激的! それに慣れちゃった。 (五年)

《第二上新井学童クラブ》

「よっしゃー! クラブ初のけん玉一級合格!」と、灯台が出来てみんなで大喜びしました。



《仲栄学童》

*「コロナのせいでやりたい遊びができない! Sけんを思いっきりやりたいんだけど」この言葉を聞いて周りに人がいなかったので、三人だけでSけんをやりました。(三年生男子・女子) *「学童でたくさんどんがめができてうれしい。家でもやってるよ」(一年男子) *「ラミーキューブの世界大会に出たい」(三年女子) *おやつを持ち帰りが延びたことをきいて「コロナが早く亡くならないかな(実際の言葉は コロナ死ぬね!) 早くみんなでおやつが食べたい」(二年女子)

《安松学童》

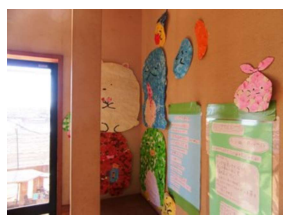
「これ私だと思って持ってた。学童行ったことになるでしょ」二年生になる時に、本当は通い続けたかったひまりちゃんが、二年生のお迎えに行くと「私も学童行く」と学童の帰る列に並びはじめて、学校のことや家の

《宮前学童》

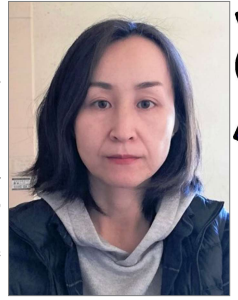
宮前学童では、毎月掲示するカレンダーを手作りしています。模造紙半分の大きさに カレンダーを書き、お誕生日の子を記入します。すると、子ども達は「今日は〇〇くんのお誕生日だよ」「おめでとう」と微笑ましい会話が聞こえてきます。カレンダーに絵を描いてほしいとお願いすると、積極的に「やりたい」と言う子が多く、みんなでわいわい楽しんで書いています。「〇月といえばなんだろう?」と季節の絵を描いてくれることが多いですが、折り紙で動物やお花、切り絵を貼ってくれることもあり、毎月どんなデザインになるか子ども達の発想力に驚かされます。また、行事や掃除の日などの

予定を書くことで、自分たちで、一ヶ月の見通しをもてるようにしています。「今日はロッカー掃除だよ...」と面倒臭そうに言いながらも、一週間に一回、ランドセルを出してロッカーの床面だけでなく壁面も綺麗に拭きピカピカにしています!! 最初は雑巾をしぼるのに苦戦していた一年生も、いまでは上手にしばれるようになり、成長を感じます。今は班長さん達がお楽しみイベントを企画中。日程が決まったらカレンダーに書き込む予定です。みんなのよさぶ顔が楽しみです。

他にも、子ども達が作った班ボスター・ちぎり絵・めりえなども掲示して、楽しんでいきます!



ことを少し話しているうちに「じゃ帰るね」ということを繰り返していました。本人も複雑な気持ちを受け止めてほしかったのだと思います。ある日ハートの折り紙を持ってきて「これ私だと思って持ってた。学童行ったことになるでしょ」その日からたまに会うと私のネームプレートにハートの折り紙が入っているのか確認して「なくさないでね」と言われます。通い続けたい子が通い続けられるようにするのは大人の責任だと忘れないようにハートの折り紙を大事に持っています。



向野有桂 指導員

宮前学童クラブ

小学生の時、友達が学童に通っていて庭でたくさんの子が楽しそうに遊んでいて、行くと指導員の方がよく声をかけて下さいました。私の親も共働きだったので、学童通いたい！と頼んだ事もありました。

子育てを経て、子どもと関わる仕事がしたいと思うようになり、探していくうちに今の職場に出会いました！

子ども達からは、ゆかちーと呼ばれています。子ども達には、

あんまり怒らない人と思われているかもしれません。でも、言う時は言います！

指導員になって良かったことは、毎日子ども達が、楽しいことがあった時も、嫌なことがあった時でも、ゆかちーきて！と呼んでくれるのが、嬉しいですね。呼ばれたら駆けつけます！

指導員として大切にしている事は、子ども達に呼ばれた時、何か聞かれた時、必ず返事をするようにしています。「ちょっと待ってね」「後でね」はなるべく言わないようにしたいものです！

同僚からも、支援員の話も子ども達の話も聴いて一緒に悩んでくれる。大笑いをしているのはなかなか見られませんが穏やかな笑顔が可愛いとのこと。優しく話を聞いてくれるみんな

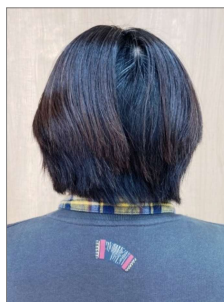
のお姉さん。ダメなものはダメとしつかり伝え、ダメな中にも出来るようになるか一緒に考えてくれる存在なんだそうです。

生き物が好きなので、金魚、メダカ、なますなどを飼っています。うちの子も生き物好きなので、夏はカブト虫、ヤモリ、トカゲなど、いつも何かしら居ます。一番好きなのは金魚で、ただいま病気療養中ですが、春になれば元気になると信じて大事にお世話しています。

宮前学童クラブの子どもたちは、夏は泥んこ、冬も土ぼこりで真っ黒になるほど、駆けまわっている元気っ子たちです！顔と手を真っ黒にして、「泥団子できたよー」と見せてくれる姿は、本当にかわいいです。

コロナ禍の中でマスクをしよ

次はダンス



うね、すこし離れて遊ぼうねなど、感染対策のために子ども達の遊びの合い間に声を掛けなければいけないのが心苦しいです。優しく声をかけるようにしています。子どもたちは、手洗うがい、マスクの着用、とてもしっかりやってくれています。たくさんさんの事を我慢しなければいけない状況の中でも、楽しみを見つけて、思い切り遊ぶ姿に元気をもらえます！

とても優しいお人柄が垣間見られる向野指導員でした。

がくどうマンガ



学童クラブの会のHPはこちらから！



編集後記

二十年以上も昔の話だ。娘が小学校入学と共に学童保育に入所した。楽しい事も行きたくなくなるような事もあったが、六年生まで在籍した。／娘にとって学童がいかなる場所であったか。それを聞くのはもう少し先なのかも。／私の方は仕事と子育てで多忙であったが、他の保護者と共に行事や運営でさらに忙しかった。が、今振り返ると楽しかった印象しかない。／過ぎてしまえばあつという間であつた。／自分は、子どもの頑強制されたり、価値観を押し付けられるのが嫌であつた。娘には極力そうしないようにしたつもりだ。／果たして、自分の事はとっとと自分で決めて、進めるようになっていく。既に家庭を持ち、後は見守る以外する事はない。／相変わらず出口の見えないコロナ禍だ。TVで尾木直樹氏が、「この事態を乗り越えて、新しい世界を作っていくのは子ども達だ。」と仰っていた。／どのような世界が来るのか、期待する。

(光本)